

見つけよう、私だけの「野ばら」色

<今年度のキャッチフレーズ>

二高の校章にあしらわれた「野ばら」は、咲いて清らかな白。だけど、クラスマッチで身にまとう私たちの手作りコスチュームは色とりどり。部活動で、かけがえのない仲間と心の中で掛け合うメダルは金色。夢を追いかけることは、美しい「野ばら」色を私だけの色に染めていくこと。本校のシンボル「野ばら」の色を、さらに強く、さらに鮮やかにしていきたいという気持ちを表しました。

野外活動

R4.04.26

1年生は福島方面、2年生は栃木方面、3年生はディズニーシーへ行きました。



高校最初の野外活動を通して、私は2つ思い出ができました。一つ目は、東日本国際大学見学で、実際に模擬講義を受け、専門的なテーマであってもわかりやすい説明で早く大学で勉強したいと思えるほどでした。二つ目は、アクアマリンふくしまで、新しい友だちと仲良く見学でき、このクラスで良かったと思える時間を過ごすことができました。

大槻 菜々美 (日立市立多賀中学校出身)

進級して間もない遠足でしたが、そんなことを感じないくらい楽しむことができました。りんどう湖では、ジップラインを体験しました。ジップラインというのは、広い湖の上で景色を一望できるアトラクションです。これからも今回が一番楽しかったと記憶が更新されるような最高の思い出を作っていきたいと思います。

蘭部 日菜莉 (高萩市立秋山中学校出身)

今回、ディズニーシーで、私は親友とお揃いの服でたくさん写真を撮りました。いつもは制服を着ているので、私服で自由に過ごせる時間が本当に楽しかったです。友だちとの会話も、学校で話す内容と変わらないはずなのに、バスの中で友だちと横並びで話すだけで特別な思い出となりました。去年行けなかった沖縄の修学旅行の分まで、楽しめた一日でした。

嶋原 朱里 (ひたちなか市立佐野中学校出身)

体力測定

R4.04.28



体育の授業の前には、「パワーアップ体操」という二高独自の準備運動をします。準備運動とは言え、全身運動、かなりハードな動的ストレッチです。グラウンドでは50M走とハンドボール投げを、体育館では反復横跳びや上体起こし等を行いました。

校内進学相談会

R4.05.25



定期考査の最終日、毎年、80校を超える大学・短期大学・専門学校の入試担当者が来校します。全学年の生徒が自分の興味関心のある進路ブースに出向き、直接話を聞いたり、質問したりしています。進路意識を高める貴重な機会となります。

JICA 筑波

R4.05.27



SDGs (持続可能な開発目標) については、日本ばかりではなく世界全体の課題であることがわかりました。自分が普段当たり前に使っている水が本当に貴重な資源であることや、食品ロスを減らすことが開発途上国の人々の食生活の改善につながることを実感しました。まずは自分にできることを行動に移したいと思いました。一人ひとりの小さな行動が、大きな変化につながる。Think Globally, Act Locally. という言葉が印象に残りました。

大高 妃花 (日立市立駒王中学校)

Tokyo Global Gateway

R4.05.27



最初に私たちをサポートしてくれるエージェントとお互いに自己紹介をし、ジェスチャーゲームをしました。エージェントが面白い反応をして、私たちの緊張をほぐしてくれました。レストランや飛行機内でのメニュー・アイテムのオーダーを英語で行いました。まるで海外にいるかのような体験ができました。午後は、インフォグラフィックを作成しました。これらの体験を通して、失敗を恐れずに積極的に挑戦することが大切だと思いました。

五十嵐 くるみ (日立市立大久保中学校出身)